



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

株式会社ロッテ
2019年7月11日(木)

～オーラルフレイル対策で健康寿命の延伸を目指す～

海老名市、海老名市歯科医師会、ロッテ 「歯と口の健康づくりの推進に関する協定」を締結



海老名市と一般社団法人 海老名市歯科医師会（以下、海老名市歯科医師会）、株式会社 ロッテ（以下、ロッテ）の三者は、2019年6月28日（金）に、「歯と口の健康づくりの推進に関する協定」を締結しました。

これは、海老名市民が生涯にわたり健やかで心豊かな生活を送れるよう歯と口を通じた健康の保持増進および健康寿命の延伸を図るとともに、地域社会の発展などに寄与することを目的として、協定を締結したものです。

●協定締結にいたった経緯

ロッテは、咀嚼と健康効果（特に口を介した体の衰え（＝オーラルフレイル）関連）を研究するとともに、ガムを使った咀嚼エクササイズなどの情報発信により地域貢献活動に取り組んでいることから、海老名市が海老名市歯科医師会に委託して実施している「オーラルフレイル健診（次ページに詳細）」に注目し、実現にいたったものです。

今後は、オーラルフレイル健診に加え、咀嚼と健康寿命の延伸に関する共同研究など連携を強化し、最新の情報、正しい知識の普及啓発を通じて、市民の健やかで心豊かな生活につなげていく予定です。

●協定の内容

- ①歯と口を通じた海老名市の健康推進事業に関すること。
- ②歯と口を通じた市民の心と体の健康づくりの推進に関わること。
- ③歯と口を通じた市民の体の衰え（オーラルフレイル）を予防するための正しい知識の普及啓発に関すること。
- ④ガムを噛むことによる心と体の健康づくりの研究の推進に関すること。
- ⑤その他の目的を達成するために必要な事項に関すること。



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

参考資料

●協定締結式

1. 実施日 2019年6月28日(金)
2. 実施場所 海老名市役所
3. 出席者 海老名市 市長 内野優
海老名市歯科医師会 会長 鈴木仙一
ロッテ 執行役員 ロッテノベーション本部 中央研究所 所長 芦谷浩明

●オーラルフレイル健診とは

「オーラルフレイル」は、直訳すると「口の機能の虚弱」となります。

口のささいな衰えを放置したり、適切に対処しなかったりすることにより口の機能の低下や食べる機能の障がい、さらには心身機能の低下にまでつながります。

この概念に基づき、市では、平成30年度に神奈川県モデル事業として、65歳以上の市民を対象に「オーラルフレイル健診」を実施し、今年度は、市の単独事業として、55歳以上の市民を対象に「オーラルフレイル健診」を実施しています。

オーラルフレイル健診は、市内45か所の歯科診療所で、自己負担500円で受診することができます

《主な検診内容》

生活習慣・嚥下(飲み込み)・既往歴に関する質問

身体測定・指輪っかテスト

歯の状態 歯肉の状況 口腔衛生の状態 顎関節の診査 口腔乾燥の状態

嚥下機能 運動機能(滑舌・舌圧測定)

咀嚼機能(グルコセンサー、咀嚼チェックガムによる咀嚼チェック)

●咀嚼チェックガム

ガムは緑色で、60回(約1分間)噛むことで徐々に赤色に変化していきます。咀嚼をチェックする目安として、小児から高齢者まで簡単に使用することができます。



●ロッテ 執行役員 ロッテノベーション本部 中央研究所 所長 芦谷浩明 コメント

今回、歯と口の健康づくりの推進、特にオーラルフレイル対策・改善の領域において、先進的な取り組みを行っている海老名市と協業させて頂くこととなりました。口の機能の一部である「噛むこと」を長年研究してきた経験を生かし、社会に貢献させて頂く機会を頂き、大変感謝しております。

三者で協力して、歯と口を通じた健康の保持増進の啓発を続け、市民の健康のために全力で頑張りたいと考えております。